

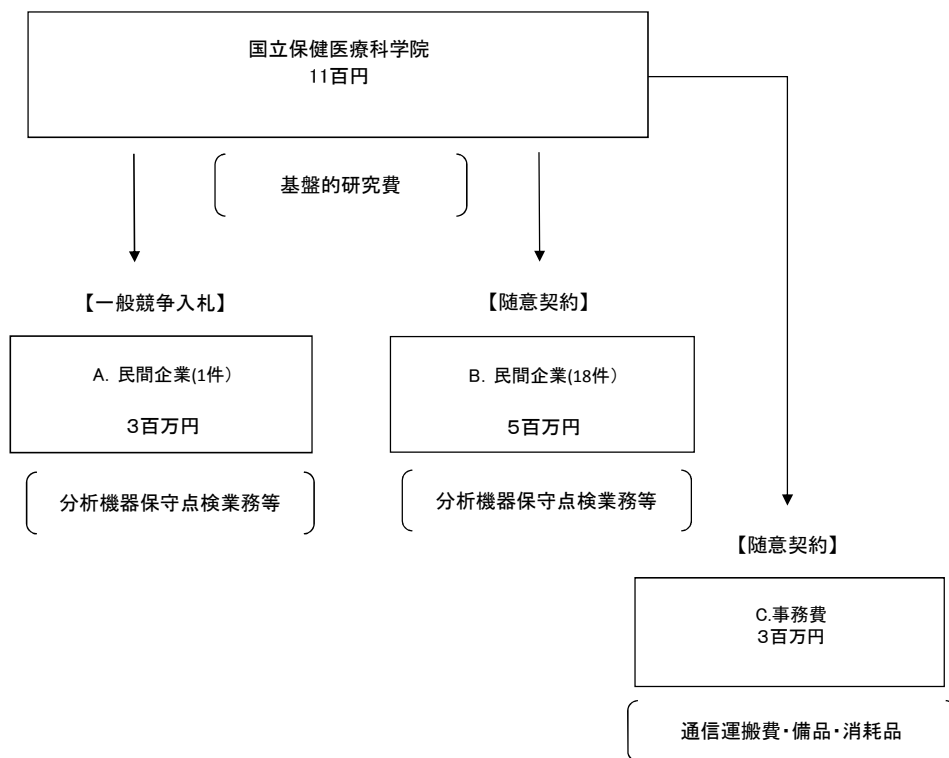
平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院基盤的研究費			担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		川又 功	
会計区分	一般会計			政策・施策名	X I - 1 - 1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行い、国内外における諸分野の動向を踏まえた基礎資料や調査手法の策定などに寄与することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	保健医療福祉サービスに関する ・健康危機管理研究のあり方に関する基盤的研究 ・少子・高齢化社会に対応した健康確保に関する基盤的研究 ・生活環境に関する安全・安心の確保に向けた基盤的研究 等に関する基礎的・基盤的研究を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	11	11	11	11	11	11
	執行額	11	11	11				
執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	科学院が毎年行っている研究課題評価で3.5点以上を目標とする。	基盤的研究に係る研究課題評価の点数	成果実績	点	3.4	4	3.8	
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5
			達成度	%	97%	114%	109%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	研究課題数	活動実績	件	6	6	6		
		当初見込み	件	6	6	6	6	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:執行額/Y:研究課題数	単位当たりコスト	円	1,825,444	1,765,901	1,828,478	1,828,500	
		計算式	X/Y	10,952,667円/6件	10,595,410円/6件	10,970,873円/6件	10,971,000円/6件	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	11	11					
	計	11	11					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究は国民の健康を守るために必要とされている事業であり、医療費等の軽減にもなるため国費の投入の必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	基礎的、基盤的研究であり、国で実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	科学院の政策に基づく事業として位置づけられ、優先度の高いものとなっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施し、競争性を確保した。個々の契約が100万円未満のものについては少額随契とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	単位当たりコストは、前年度と同等の水準である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	両面コピーを活用している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績が成果目標を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込以上である。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	国立保健医療科学院における調査研究事業に関する経費という点で類似しているが、それぞれ適切な役割分担となっている。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生労働省・国立保健医療科学院	880	国立保健医療科学院運営経費	878: 調査研究事業に密接に関係する事務費 880: 調査研究事業	
点検・改善結果	点検結果	平成26年度までの研究成果を東京電力福島第一原発事故に関するものだけではなく放射線健康危機管理事例への対応に関する地方自治体からの技術的支援要請にも活用し課題解決に役立っている。研究課題については、毎年研究内容の評価を行っており、研究の効果的・効率的な実施に努めている。発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を図っている。			
	改善の方向性	外部委員による研究課題評価の結果を受けて、研究内容の方向性等について更なる改善を図っている。今後も、基盤的研究事業に必要な経費執行を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努めるとともに、各分野における基礎資料や調査手法の策定に繋げていく。			
外部有識者の所見					
今後とも適切な予算要求と執行をすること。(井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	保健医療福祉サービスに関する基礎的・基盤的研究を行うものであるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	599	平成23年度	546	平成24年度	485
平成25年度	869	平成26年度	869		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.ジーエルサイエンス株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	実験機器保守点検整備業務	2.9			
計		2.9	計		0
B.島津サイエンス東日本株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	液体クロマトグラフ分析計保守点検	1			
雑役務	高速液体クロマトグラフ保守点検	0.6			
計		1.6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ジーエルサイエンス株式会社	実験機器保守点検整備業務	2.9	1	98.5%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島津サイエンス東日本株式会社	液体クロマトグラフ分析計保守点検	1	随意契約	-
2	島津サイエンス東日本株式会社	高速液体クロマトグラフ保守点検	0.6	随意契約	-
3	株式会社アールシーエー	簡易クラウドソフトウェアの改修業務	0.8	随意契約	-
4	株式会社アールシーエー	簡易クラウドソフトウェアの改修・テスト支援業務	0.6	随意契約	-
5	株式会社池田理化	フローサイトメーター修理	1	随意契約	-
6	株式会社池田理化	マッフル炉修理	0.1	随意契約	-
7	アルカティン・ジャパン株式会社	Web会議システムライセンス	0.2	随意契約	-
8	有限会社正陽印刷	演習用地図作成委託業務	0.2	随意契約	-
9	システム制御情報学会	論文掲載	0.1	随意契約	-
10	株式会社ケセラ	サーバー更新	0.1	随意契約	-
11	レノバサイエンス株式会社	超純水製造装置修理	0.1	随意契約	-
12	レノバサイエンス株式会社	SepPackコンセントレーター用ポンプ修理	0	随意契約	-
13	カクタス・コミュニケーション株式会社	英文校正	0	随意契約	-
14	アジレント・テクノロジー株式会社	バイナリポンプ修理	0	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社USEN	光回線利用	0.5	随意契約	-
2	株式会社フォーサイト	OA機器等購入	0.4	随意契約	-
3	株式会社ダイキ産業	風速計等購入	0.4	随意契約	-
4	とら屋事務株式会社	OA機器等購入	0.4	随意契約	-
5	岩井化学薬品株式会社	分析用理化材購入	0.3	随意契約	-
6	堀内電機株式会社	OA機器等購入	0.2	随意契約	-
7	アズサイエンス株式会社	分析用理化材購入	0.2	随意契約	-
8	株式会社西田文具	OA機器等購入	0.2	随意契約	-
9	有限会社松岡商事	OA機器等購入	0.1	随意契約	-
10	寿産業株式会社	分析用理化材購入	0.1	随意契約	-